



Day of the Dead：授業アイデア（簡単版）

死者の日（ディア・デ・ムエルトス）をテーマにした英語の授業アイデア 4本

Class _____ No. _____ Name _____

1. ミニ・オフレンダ作り：好物を英語で紹介

小学校・20分

- 🌀 祭壇に置く物の名前（candle, flower, bread, water, photo）を英語で言い、好きな食べ物を紹介できる。
- 1. 死者の日の祭壇の写真を見せ、置かれている物を英語で言う。
- 2. 画用紙に自分の「ありがとうを伝えたい人（家族・ペットでもよい）」の好きな物の絵をかく。
- 3. This is my grandma. She likes rice balls. の型でペアに紹介する。
- 4. 教室の机を1つの祭壇に見立てて作品を並べ、ギャラリーウォークをする。

2. お盆 vs 死者の日：ベン図で英語比較

中学・25分

- 🌀 2つの行事の共通点と違いを、both / but / in Japan などを使って英語で書ける。
- 1. 国別くらの日本（お盆）とメキシコの行を読み、本文の英文も確認する。
- 2. 班でベン図をかき、共通点（spirits come home, families visit graves）と違いを英語で書きこむ。
- 3. Both Obon and the Day of the Dead ... / But in Mexico ... の型で3文を書く。
- 4. 班の代表が発表し、クラスで「いちばん意外な違い」を1つ選ぶ。

3. カラベラ詩を書こう：ユーモアの英詩

高校・40分

- 🌀 メキシコの「カラベラ・リテラリア」の伝統を知り、相手を傷つけないユーモアで短い英詩を書ける。
- 1. カラベラ・リテラリアが、生きている人を「死んだことにして」からかう伝統の詩であることを説明する。
- 2. 対象は架空の人物か自分自身にする、悪口にしないなどのルールを決める。
- 3. 4行の英詩を書く（例：Death came for Ken one day, but Ken said, Wait, I have a test today!）。
- 4. クラスで読み合い、いちばん笑える詩とていねいな詩を選ぶ。

4. 映画は伝統を作れるか？：ピザ効果を議論する

大学・45分

- 🌀 文化の「本物らしさ（authenticity）」について、具体例をもとに英語で議論できる。
- 1. advanced の英文を読み、pizza effect と authenticity の意味を確認する。
- 2. スペクターのパレード、ディズニーの商標問題、ユネスコ登録など、本文の具体例をグループで整理する。
- 3. 日本の例（外国で人気になって逆輸入された文化など）を各自1つ探す。
- 4. Can a tradition be authentic if it began recently? について立場を決め、5分ずつ意見を述べ合う。



1. ミニ・オフレンダ作り：好物を英語で紹介

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

祭壇に置く物の名前（candle / flower / bread / water / photo）を英語で言い、This is my _____. She likes _____. の形で大切な人の好きな物を紹介できる。

準備

- 死者の日の祭壇（オフレンダ）の写真
- 絵カード（candle / flower / bread / water / photo）。基本セット p.3 のマッチングの絵を拡大してもよい
- 画用紙（1人1枚）と色鉛筆
- オレンジ色の紙で作った花びら（教室の机を祭壇に見立てて飾る用）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	祭壇の写真を見せ、「メキシコでは11月1日と2日に、亡くなった家族が家に帰ってくると考えて、好きだった物を並べる」と短く紹介する。写真の中の物を指さし、英語で言えるものを言わせる。	写真を見て、置かれている物を英語で言う。	“Look. This is an ofrenda in Mexico.” “What can you see? A candle! Flowers!” “Families put their loved ones' favorite things on it.”
展開1	7	絵カードで candle / flower / bread / water / photo を確認して全員で言う。そのあと、画用紙に「ありがとうを伝えたい人」の好きな物の絵をかかせる。家族・ペット・お世話になった人など、だれでもよく、生きている人でもよいことをはっきり伝える。	物の名前を英語で言い、ありがとうを伝えたい人の好きな物の絵をかく。	“Say it with me. Candle. Flower. Bread.” “Think of someone you want to say thank you to.” “What does that person like? Draw it.”
展開2	5	This is my grandma. She likes rice balls. の型を練習し、ペアで絵を見せながら紹介し合う。He likes / She likes / It likes の使い分けは、先生が言いかえて示すだけでよい。	型を使って、ペアで絵を紹介し合う。	“This is my grandma. She likes rice balls.” “Show your picture to your partner.” “This is my dog. He likes meat. Good!”
まとめ	4	教室の机を1つの祭壇に見立て、オレンジの花びらをまいて作品を並べる。ギャラリーウォークで友だちの絵を見て回らせる。最後に「メキシコでは、この日は泣くより笑って迎える日」と伝える。	作品を並べ、友だちの絵を見て回る。	“Let's put our pictures on our ofrenda.” “Walk around and look at your friends' pictures.” “In Mexico, this is a happy day to remember.”

板書例

Ofrenda（祭壇）

candle flower (marigold)

bread water photo

This is my _____.

She likes _____. / He likes _____.

Day of the Dead : 11月1日・2日（メキシコ）

評価のポイント

- 祭壇に置く物の名前を英語で言えたか。
- This is my _____. She / He likes _____. の形で紹介できたか。

つまずきへの手だて

- 身近な人を亡くしたばかりの子がいるときは、事前に家庭や担任と相談し、生きている人やペット、好きなキャラクターでもよいことにする。
- 英語で食べ物の名前が出ない子には、先生が言い方を教え、くり返させる。

発展

- マリーゴールドの強いにおいが、魂が帰り道を見つける助けになると言われていることを紹介する。
- 日本のお盆のキュウリの馬とナスの牛を紹介し、メキシコのオレンジの花びらの道と比べる。
- 基本セット p.8 のぬりえを家庭学習にする。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）の絵
- 基本セット p.8（ぬりえ）
- このサイトの英語ページの単語の音声



2. お盆 vs 死者の日：ベン図で英語比較

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

お盆と死者の日の共通点と違いを、both / but / in Japan などを使って英語で書ける。

準備

- ・アクティビティ集 B5（国くらべ）。国別くらべの日本（お盆）とメキシコの行
- ・このサイトの英語ページ本文（A Path of Orange Petals）の第3・第4段落と音声
- ・ベン図を印刷したA3用紙（班に1枚）
- ・基本セット p.7（作文）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	英語ページの dialogue から、ハルトがお盆を紹介する場面を読む。「メキシコの人もお盆と似ていると感じた」ことを伝え、今日は2つを比べることを示す。	dialogue を読み、2つの行事が似ていることに気づく。	“Haruto says, In Japan, we have something similar. What is it?” “Yes, Obon.” “Today, let's compare Obon and the Day of the Dead.”
展開1	7	国くらべのお盆とメキシコの行、本文の第3・第4段落を読ませる。祭壇を作る・好物を供える・墓に集まる・魂が帰ってくる、などを確認する。キュウリの馬とナスの牛、オレンジの花びらの道のように、帰り道の手助けがどちらにもあることに気づかせる。	国くらべと本文を読み、2つの行事の特徴を確認する。	“Read about Obon and the Day of the Dead.” “In both, families believe the spirits come home.” “In Mexico, petals show the way. In Japan, what helps the spirits?”
展開2	8	班でベン図をかき、共通点（spirits come home / families visit graves / make an altar）を真ん中に、違い（夏と秋、静かな雰囲気とにぎやかな音楽など）を両側に英語で書きこませる。そのあと Both Obon and the Day of the Dead ... / But in Mexico ... の型で3文を書かせる。	班でベン図を作り、型を使って比較の文を3つ書く。	“Put the same things in the middle.” “Put the different things on each side.” “Write three sentences. Both Obon and the Day of the Dead ...” “But in Mexico, people play music at the cemetery.”
まとめ	6	班の代表が3文を発表する。クラスで「いちばん意外な違い」を1つ選ぶ。最後に、死者の日はハロウィンとは別の行事で、こわがる夜ではなく家族の再会の日であることを確認する。	班の文を発表し、いちばん意外な違いを選ぶ。	“Please read your three sentences.” “Which difference is the most surprising?” “Remember, the Day of the Dead is not scary. It's a family reunion.”

板書例

Obon ⇔ Day of the Dead

Both : spirits come home / families visit graves / an altar with favorite food / help the spirits find the way

Obon : summer・静か・キュウリの馬とナスの牛・迎え火と送り火
Day of the Dead : November 1-2・にぎやか（音楽・墓地で一晩）・marigold petals

Both Obon and the Day of the Dead _____.

But in Mexico, _____.

評価のポイント

- ・ both / but を使って、共通点と違いを正しく書き分けられたか。
- ・ 比較の内容が、本文や国くらべの事実合っているか。

つまづきへの手だて

- ・ 英文が作れない班には、ベン図の英語の語句をそのまま型に入れればよいと伝える。
- ・ お盆の習慣になじみのない生徒には、このサイトのお盆のページの写真を見せる。

発展

- ・ メキシコでは毛の少ない犬ショロイックインツレが魂を死者の国へ案内すると言われてきたことを紹介し、日本の精霊馬と比べる。
- ・ フィリピンのウンダス（11月1日）も国くらべで読み、3つの国で比べる。
- ・ 基本セット p.7 の作文（The Day of the Dead is different from Halloween because ...）を家庭学習にする。

使う教材

- ・ アクティビティ集 B5（国くらべ）
- ・ このサイトの英語ページ本文・dialogue と音声
- ・ 基本セット p.7（作文）



3. カラベラ詩を書こう：ユーモアの英詩

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

メキシコの「カラベラ・リテラリア」の伝統を知り、相手を傷つけないユーモアで4行の英詩を書ける。

準備

- 記事の「Día de Muertos の意味」の節（カラベラ・リテラリアの説明）の要約
- 先生が作った見本の詩（例：Death came for Ken one day, / But Ken said, Wait, I have a test today! / Death said, OK, I'll come back at three, / But Ken was still studying, so Death had tea.）
- 韻をふむ語のリスト（day / today / play, three / tea / free, school / cool / rule）
- 清書用の紙

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	7	calavera がスペイン語で「頭蓋骨」であることと、メキシコではもう1つ、生きている政治家や先生、友だちを「死んだことにして」からかう短い詩の意味があることを説明する。18～19世紀から続き、この時期に新聞や学校で作られることを伝える。見本の詩を読み、どこが笑えるかを聞く。	カラベラ・リテラリアの伝統を知り、見本の詩のおもしろさを考える。	“Calavera means skull in Spanish.” “In Mexico, it is also a funny poem for the Day of the Dead.” “In the poem, Death comes for someone. But it is a joke.” “Listen to my poem. Which part is funny?”
ルールづくり	5	クラスでルールを決める。対象は架空の人物か自分自身にする、実在のクラスメートや先生の名前は使わない、外見や家族をからかわない、悪口にしない、の4つを板書する。身近な人を亡くした生徒がいる場合を考え、死そのものを重くえがかないことも確認する。	詩を書くときのルールを確認する。	“Here are our rules.” “Write about yourself or a made-up person.” “No names of classmates or teachers. No mean jokes.” “We want everyone to smile.”
創作	15	4行の英詩を書かせる。1行目で Death came for ... と始め、2～4行目で、その人がどうやって死神をかわしたかを書く。1・2行目と3・4行目の最後で韻をふむよう、語のリストを使わせる。書いたらペアで読み合い、もっと笑える言い方を相談させる。	4行の英詩を書き、ペアで読み合って直す。	“Start with Death came for ...” “How did the person escape? Make it funny.” “Try to rhyme. Day and today. Three and tea.” “Read it to your partner. Can you make it funnier?”
まとめ	13	清書した詩を班で読み合い、班の代表作を1つ選んでクラスで発表する。クラスで「いちばん笑える詩」と「いちばんいてねいな詩」を選ぶ。最後に、死をネタに笑うことが、死者を身近に感じるメキシコの文化とつながっていることを確認する。	詩を読み合い、クラスでいちばん笑える詩といてねいな詩を選ぶ。	“Read your poems in your group.” “Choose one poem for the class.” “Which is the funniest? Which is the most beautiful?” “In Mexico, people laugh with death, not only cry.”

板書例

calavera = ① skull（頭蓋骨）

② calavera literaria（ユーモアの詩）

生きている人を「死んだことにして」からかう・18～19世紀から

Rules

- 自分か架空の人物について書く
- クラスメートや先生の名前は使わない
- 悪口・外見・家族のことは書かない

Death came for ____ one day,

But ____ said, ____!

韻：day / today / play three / tea / free

評価のポイント

- 4行の詩が、カラベラの形（死神が来る→ユーモアでかわす）になっているか。
- ルールを守り、だれも傷つけない内容になっているか。
- 韻をふむ工夫ができたか。

つまずきへの手だて

- 書き出せない生徒には、見本の詩の名前と2行目だけ変えさせる。
- 韻が見つからない生徒には、韻をふまなくてもよいことにし、内容のおもしろさを優先させる。
- このテーマがづらい生徒には、死神の代わりに「テストの怪物」が来る詩でもよいことにする。

発展

- ラ・カトリーナがもとは上流階級の女性を皮肉った版画だったことを紹介し、風刺とユーモアのちがいを話し合わせる。
- 日本の川柳と比べ、短い詩で笑いを生む工夫を英語で説明させる。

使う教材

- このサイトの記事（Día de Muertos の意味・ラ・カトリーナの由来）



4. 映画は伝統を作れるか？：ピザ効果を議論する

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

文化の「本物らしさ（authenticity）」について、advanced と日本の具体例をもとに英語で意見を述べ合える。

準備

- 発展セット（advanced の英文 When a Movie Creates a Tradition と設問）
- 記事の豆知識（2013年のディズニーの商標登録の申請と取り下げ）
- 整理シート（出来事・年・誰が形を変えたか・本物らしさへの影響）
- タイマー

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
読解	10	advanced を読ませ、pizza effect（外国で形づくられた自分の文化の姿を、その文化が取り入れること）と authenticity（本物らしさ）の意味を確認する。2015年の映画『007 スペクター』の架空のパレードが、翌年メキシコシティで本物になり約25万人が集まったことを押さえる。	advanced を読み、pizza effect と authenticity の意味を確認する。	“Read the text. What is the pizza effect?” “What happened in Mexico City the year after Spectre?” “What does authentic mean here?”
整理	8	グループで本文と豆知識の例を整理シートにまとめる。スペクターのパレード（2016年）、20世紀に政府が国の文化として後押ししたというエルサ・マルビドの説、ラ・カトリーナがもとは風刺の版画だったこと、2008年のユネスコ登録、2013年のディズニーの商標問題を、誰が形を変えたかで分類させる。	本文と豆知識の例を、誰が形を変えたかで分類する。	“List the examples. Who changed the festival each time?” “A film, a government, an artist, or a company?” “Why did Disney drop its plan in 2013?”
日本の例	7	日本の文化で、外国で人気になって逆輸入されたものや、最近広まったのに伝統のように扱われているものを、各自1つ探させる。グループで共有し、ピザ効果にあてはまるかを話し合わせる。	日本の例を1つ探し、ピザ効果にあてはまるかを話し合う。	“Find one example from Japan.” “Was it shaped abroad and then brought back?” “Does it fit the pizza effect?”
意見交換	20	Can a tradition be authentic if it began recently? について各自の立場を決めさせる。3人グループで1人5分ずつ意見を述べ、ほかの2人は質問や反論をする。最後の5分で、グループで一一致した点と分かれた点を英語でまとめさせる。	1人5分ずつ意見を述べ合い、一致した点と分かれた点をまとめる。	“Can a tradition be authentic if it began recently?” “Each person has five minutes. Give reasons and examples.” “Listeners, ask questions or disagree politely.” “What did your group agree on? Where did you differ?”

板書例

When a Movie Creates a Tradition

2015 Spectre の架空のパレード → 2016 本物のパレード（約25万人）
pizza effect＝外国で作られた自分の文化の姿を取り入れる

20世紀 政府が国の文化として後押し（Elsa Malvido の説）
La Catrina：もとは風刺の版画
2008 UNESCO：先住民の共同体の生きた慣習
2013 Disney の商標申請 → 反発で取り下げ

Q. Can a tradition be authentic if it began recently?

評価のポイント

- pizza effect と authenticity を、例を挙げて正しく説明できたか。
- 意見に本文と日本の具体例を根拠として使えたか。
- ほかの人の意見に、質問や反論で応じられたか。

つまづきへの手だて

- 日本の例が見つからない学生には、外国で先に評価された日本の料理や芸術など、範囲を広げて探させる。
- 5分話すのが難しい学生には、主張・例・反対意見への答えの3つのメモを先に書かせる。

発展

- 映画『リメンバード・ミー（Coco）』がメキシコで歴代興行収入1位になったことを紹介し、映画が伝統に与える影響を英語ページの discussion の問いで話し合わせる。
- ハロウィンのページの advanced（Who Owns Halloween?）と読み比べ、文化の借用と本物らしさについて共通点を探させる。
- 発展セットの debate を次の授業で行う。

使う教材

- 発展セット（advanced の英文・quiz・debate）
- このサイトのハロウィンのページ（advanced）